

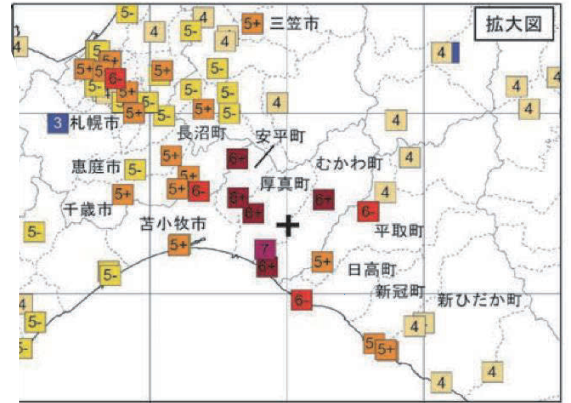
いぶりとうぶじしん

## 【コラム②】胆振東部地震の災害復旧について

【～胆振東部地震から5年を経過～】

### ○ 地震

2018（H30）年9月6日3時7分頃、胆振地方中東部を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生。震源の深さは37km。この地震により、胆振地方の厚真町鹿沼で最大震度7を安平町追分柏が丘、むかわ町松風、むかわ町穂別で震度6強の揺れを観測した。全道的にも千歳市や日高町、平取町、札幌市東区で震度6弱を観測したほか道内の広い範囲で震度5強～震度1を観測した。気象庁は、この地震の名称を「平成30年北海道胆振東部地震」と定めた。ライフラインの影響も大きく、震源から約20kmに位置する北海道電力苫東厚真火力発電所が緊急停止した影響により、道内全ての発電所も緊急停止し、道内全域の約295万戸で停電が発生した。道内全域での停電、いわゆるブラックアウトは、1951年の北海道電力創設以来、初めての事象であった。



「平成30年北海道胆振東部地震の震度分布図」

出典：地質調査研究推進本部HP

「平成30年北海道胆振東部地震の評価」（平成30年10月12日）  
（北海道胆振東部地震公共土木施設災害復旧事業記録誌掲載）

### ○ 災害復旧事業の概要

（単位：百万円）

災害復旧事業	査定決定（R3年度までに全箇所での復旧が完了）					
	道		市町村		合計	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
河川	26	19,853	73	7,209	99	27,061
道路	111	5,455	225	7,971	336	13,426
橋梁	19	854	3	134	22	988
下水道	0	0	30	3,567	30	3,567
公園	2	21	15	798	17	819
計	158	26,184	346	19,678	504	45,862

道路や河川などの公共土木施設の査定決定額は、  
北海道：158カ所、約262億円  
市町村：346カ所、約197億円

※北海道建設技術センターHPより資料を掲載しております。  
<https://www.hoctec.info/info/details/32021.html>  
（北海道河川砂防課災害復旧係HPにもリンクあります）



令和5年5月発行

厚真川（厚幌ダム）災害復旧事業（厚真町）



上幌内早来停車場線災害復旧事業（厚真町富里地区）



上幌内早来停車場線災害復旧事業（厚真町吉野地区）



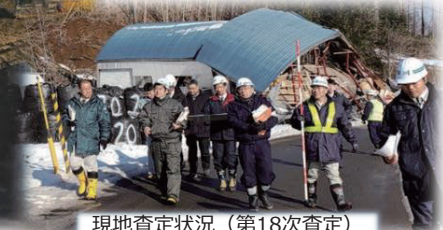
災害復旧工事が令和4年3月に完了し、胆振東部地震発生から5年の節目を迎えたことから、当時の災害復旧事業に携わった全国知事会派遣職員を対象に令和5年5月12日に『北海道胆振東部地震公共土木施設災害復旧事業報告会』を開催し、これ合わせて『北海道胆振東部地震公共土木施設災害復旧事業記録誌』を作成した。

IV. 社会資本整備の基本方針と主要施策

○ 調査・査定・派遣・復旧



机上査定状況 (第15次査定)



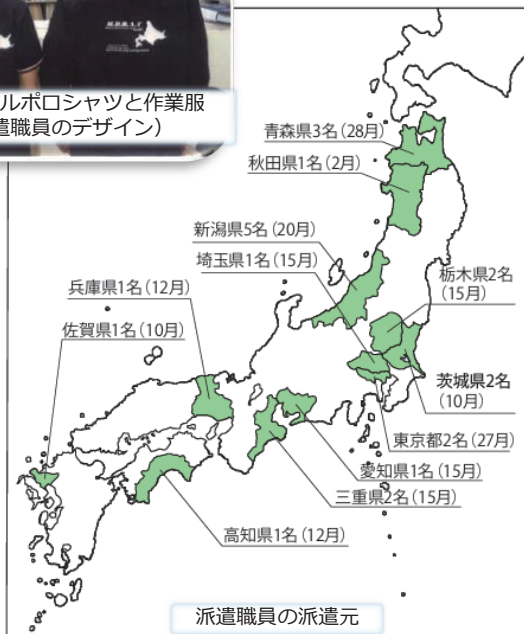
現地査定状況 (第18次査定)



全道建設管理部からの応援職員 (平成30年11月30日)



オリジナルポロシャツと作業服 (派遣職員のデザイン)



派遣職員の派遣元



全国の都県からの応援職員

